

第1回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成26年5月23日（金）午後1時30分～午後3時
場所	市役所4階 庁議室
出席者	市長、坪島委員、岩崎委員、斎藤委員、鈴木委員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委嘱状交付 2. 市長より挨拶 3. 市民評価委員自己紹介 4. 事前確認及び評価スケジュール説明 5. 委員長、副委員長の選任 6. 評価基準の決定 7. 評価 <ul style="list-style-type: none"> ・日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生公会堂 株式会社 日野市企業公社の報告、質疑、採点
議題1	<p>●委嘱状交付</p> <p>市長より各委員に委嘱状を交付した。</p>
議題2	<p>●市長より挨拶</p>
議題3	<p>●評価委員の自己紹介</p> <p>各委員が自己紹介を行った。 （市長退席）</p>
議題4	<p>●事前確認</p> <p>事務局（企画調整課）より、事務的な確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・録音（議事要点録作成のため） ・評価委員（名前のみ公表） ・市ホームページでの議事要点録の掲載 ・評価で使用した資料の回収 <p>●評価スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター 株式会社 日野市企業公社 2.日野市東部会館 株式会社 日野市企業公社

	<p>3.日野市立万願寺交流センター NPO 法人 日野子育てパートナーの会</p> <p>4.日野市立多摩平交流センター NPO 法人 市民サポートセンター日野</p> <p>5.日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ 社会福祉法人 雲柱社</p> <p>6.日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと 公益社団法人 社会教育協会日野社会教育センター</p> <p>の順番に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者による報告 10 分 ・ 市民委員からの質疑（指定管理者） 20 分 ・ 市民委員からの質疑（主管課） 10 分 ・ まとめ（点数記入） 10 分
<p>議題 5</p>	<p>●委員長、副委員の選任</p> <p>委員の互選により、以下のとおり決定した。</p> <p>委員長 坪島委員 副委員長 鈴木委員 (これより委員長の進行)</p>
<p>議題 6</p>	<p>●評価基準の決定</p> <p>事務局より A、B 評価について審査項目の説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 評価（基本評価） <ul style="list-style-type: none"> (1) 公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されたか。 (2) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。 (3) その他 個人情報、環境への配慮。 ・ B 評価（施設事業評価） <ul style="list-style-type: none"> 施設ごとに特殊性のある項目 ・ 特に重要な項目については、倍率を掛けている。 <p>=主な質疑（事務局）= (質問)</p> <p>評価があまり良い点数ではなく付加点がない場合で、応募が 1 社しかないような状況になっても大丈夫か。</p>

<p>議題 7</p>	<p>(回答) 問題はない。主管課に評価が悪くなかった点を伝え、改善してもらうよう指示する。</p> <p>(質問) 委員によって、評価が厳しかったり、あまかったりしても大丈夫か。特に A 評価はできて当たり前だと思っているので、厳しく評価したい。個人的主観で大丈夫か。</p> <p>(回答) 問題ない。基本的に個人の基準で大丈夫。</p> <p>●評価</p> <p>日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告</p> <p>=主な質疑（指定管理者）=</p> <p>(質問) 稼働率がホールだけで、練習室・和室・会議室・展示室の稼働率がないが、どうなっているのか。展示室の利用率を上げるための工夫をしてほしい。和室の利用がよくない。日野市の茶道連盟で持っているお釜や屏風を寄付するので、それを市民会館で市民の方に利用してもらい、伝統文化を向上させるために貢献できるのではないかという話があったが、前から一つの団体からもらうのは認められないということで受け入れてこなかったとのことだが、もう一度検討していただきたい。</p> <p>(回答) 検討していく。</p> <p>(質問) 大きな行事があったときの行事保険はどうなっているか。地震などの災害時の誘導及び放送など危機管理的なものはどうなっているか。</p> <p>(回答) イベント開催で主催者が何かを行った場合の保険は主催者に加入してもらっている。また建物内でおきた怪我、例えば階段等で転んだなどは総合保険に加入している。また地震などの対応は誘導及び放送訓練を月 2 回行っている。</p> <p>(質問) イベントなどを行う場合 PR の方法について。PR の方法が決まっているのか。市の広報に記載してあったり、自治会の回覧くらいで気付かないものもある。</p> <p>(回答) イベントカレンダーを市民会館では月ごとに作成している。ただし主催者によっては記載しないでほしいと要望もあり、プライベートなものは宣伝できない。申込み</p>
-------------	---

をされたときにできるだけ PR してもらうように声掛けを行っている。

(質問)

市民会館で民生委員など市での会議室の利用は行っているか。

(回答)

市役所会議室が取れない場合は主管課で予算をとり会議室などを利用する場合もある。

(質問)

七生公会堂の玄関脇にある看板が壊れていた。公共施設の代表される場所は、市役所の顔でもあるので、よく確認していただきたい。また、カーペットなどの交換は何年で交換するのか。

(回答)

壊れている場所などは確認している。看板の件は、修理をした。カーペットは約 10 年ぐらいもつ。七生公会堂のカーペットに関しては昨年度に交換。指定管理になり 100 万円以下の修繕については指定管理者で交換できるようになり市で予算もつかない場合、対応できる。

(質問)

事業報告書の七生福祉センターの稼働率が違うのではないかと。目標は達成しているので数字だけの違いでいいが、カーペットの交換とあったが、決算の中で、黒字だから調整して修繕をしているように見えてしまう。現場と確認しているのか。

(回答)

七生公会堂のカーペットについてはだいぶ劣化していて、見栄えも悪くなりお客様の評判も悪かったため、二年間の収益を確認しながら指定管理者での対応をした。

(質問)

水道光熱費が省エネに交換した割には増えている。基本契約などを見直してはどうか。予算より上がっている。

(回答)

予算の段階で厳しくしすぎた。平成 23 年度まで厳しい節電計画をしており、平成 24 年度からは、お客様に迷惑かけない範囲での節電になり、舞台装置も 23 年度までかなり節電していたが、24 年度からは要望に応えられるようにした。やはり市民会館などは舞台関係の電気が全体のウエイトを占めている。それに加え、電気料金の値上げがあり、予算から見ると多めになってしまった。節電は引き続き行うようにしていく。七生公会堂では昨年、利用者の負担にならない程度に水道口径を小さくし、基本料金を下げた。いずれにしても、施設そのものが老朽化し空調や電気設備などが昔の機械などで見えるところは省エネ化してもなかなか変えられない。今後そのようなものを主管課と調整し整備していく。

(質問)

高幡台図書館の利用者に七生公会堂の駐車場を貸しているのか。

(回答)

空いているときには貸している。

(質問)

市民会館での練習室のポイント制はもっと宣伝したらいいと思う。

(回答)

市民会館での練習室のポイント制は市民に喜ばれている。もっと宣伝していきたいと思う。

=主な質疑(主管課) =

(質問)

点数のつけ方は、主管課が違うが一緒にやっているのか。

(回答)

一緒にやっている。

(質問)

ホール以外の利用率向上は、主管課としてはどうか。

(回答)

企業公社なりに、ポイント制など工夫して努力していると思う。和室については努力してほしい。ただし地区センターなど和室については無料で貸し出しをしている場所があるので、市民側からすると有料では借りにくい。イベントに付随して借りる方が多い。ただしいろいろな団体があるので企業公社で音頭をとってこれから利用率を増やしてほしい。

(意見)

市民会館の和室にはお茶室などがあるので、先ほど話した茶道団体から寄付をしてもらい、その道具を利用するなどして、利用率を向上してほしい。一つの団体からの寄付を断らずに、いいものは寄付をもらい、利用してほしい。

(質問)

夢が丘小学校でお茶などをやりたいとの要望があり、お茶の道具が市民会館にあればそれを学校での利用もできるのではないか。お茶の道具にこだわらず、いろいろな道具が市民会館に常備してあれば、それを活用できるのではないか。材料がそろわなければ何もできないので、常備して利用していただき、授業で活用できるのではないか。常備できる場所としても活用してほしい。

(回答)

ご意見をいただきましたので、指定管理とも相談して、考えていきたい。

(質問)

和室の稼働率は記載されていないので、どのくらいか。

(回答)

約 20 パーセントぐらい。有料なのでなかなか使用されず、何かのイベント等に付随して使用される場合が多い。

(意見)

文化的な和室を利用できるような企画を、たとえば国際交流で和室を使用するなど和室でなければできないという講座などホール以外にも力を入れてほしい。子どもたちの伝統文化を伝えるため畳の必要性を伝えてほしい。

(質問)

七生福祉センターはなぜ高齢福祉課の担当なのか。料金や申込み方法について確認したい。

(回答)

高齢者の利用が多く福祉センターなので、担当は高齢福祉課である。料金設定はしているが、利用者の多くが高齢者のためほとんどが無料である。申込みは窓口で申請する。

=まとめ (採点) =

～第1回日野市指定管理者市民評価委員会終了～